

豊田市民芸の森 市民文化講座

せい すい だん ぎ 青佳談義 ~第12回~

「本多静雄と杉本健吉」

※「青佳」とは、本多静雄氏が名の「静」の偏・「青」と「雄」の旁・「佳」をとって雅号として使用していたものです。

本多静雄氏のゆかりの方々や地域の方から話を聞き、本多氏の功績や人柄、エピソードを後世に伝えていくとともに地域に埋もれた歴史を再発見する青佳談義。今回は12回目を迎えました。

日時：令和6年2月17日(土) 午後2時~3時30分

講師：鈴木 威 氏 (杉本美術館 元学芸員)

内容：鈴木氏から見た本多氏と杉本氏の関わり

会場：平戸橋いこいの広場 1階 多目的室 (豊田市平橋町波岩10番地)

定員：先着30名

参加費：無料

事前申込みではありません。当日直接会場までお越しください。

鈴木 威 氏 プロフィール



1987年4月、本多静雄氏と親交の深かった画家、杉本健吉氏の作品を展示する杉本美術館（愛知県知多郡美浜町）の開館とともに同館の学芸員となり、2021年10月の閉館まで同職を勤め上げた。

1997年の名古屋能楽堂の鏡板・屏風（杉本氏制作、本多氏寄贈）の制作現場など、同館の初代館長を務めた本多氏と杉本氏の様々なやりとりをスタッフとして目の当たりにしてきた。

本多 静雄 (1898~1999)

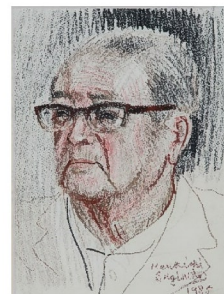
古陶磁研究者・科学技術者・実業家。
豊田市名誉市民。

日本で初めて施釉陶器を焼成した猿投窯の発見者。豊田市民芸館の設立に貢献。無二の親友であった杉本氏との約束により杉本美術館初代館長に就任し、1999年に亡くなるまでその職を務めた。

杉本 健吉 (1905~2004)

洋画家、イラストレーター、挿絵、グラフィックデザインなどで幅広く活躍。

1925年に京都にて岸田劉生の門下に入ると、翌1926年には「花」で春陽会初入選。1940年から奈良での写生に没頭するようになり、小説家の志賀直哉や写真家の入江泰吉らと交流する。1971年から無所属となり、亡くなるまで自由な立場で制作活動が続けた。



青佳肖像 (本多静雄)
杉本健吉画 1985年

「問合せ先」

豊田市民芸の森 〒470-0331 豊田市平戸橋町石平60-1

Tel : 0565-46-0001 Fax : 0565-46-0043

Eメール : mingeinomori@city.toyota.aichi.jp

共催 : NPO 法人 民芸の森倶楽部



民芸の森 HP